

自立活動支援センター 平成30年6月29日 発行

自立活動支援センターでは、保護者の皆様へ、聞こえや補聴器・人工内耳などに関する情報を提供し、共に適切な支援を行っていくために「自立活動だより」を発行していきます。

センターでは、子どもたちの聞こえに合わせて聴力検査、補聴器や人工内耳の点検、聴覚学習を定期的に行っています。このほか、毎週補聴器店の方が来校しており、補聴器やイヤモード等不具合がある際には、すぐに相談できます。

さて、今回の自立活動だよりでは、補聴器や人工内耳のお手入れの仕方、汗をかいた時やプールに入る時の対策について紹介します。梅雨が明け、気温が高い日々が続くこの時期、毎日汗や汚れにさらされて不具合や故障はありませんか。定期的に補聴器や人工内耳の掃除、または耳の掃除をしないと、汚れが蓄積して補聴器や人工内耳の調子が悪くなります。修理に出すとお金がかかりますので、自分できちんときれいにしておくことが大切です。以下に補聴器や人工内耳のお手入れの仕方を簡単にまとめましたので参考にしてください。

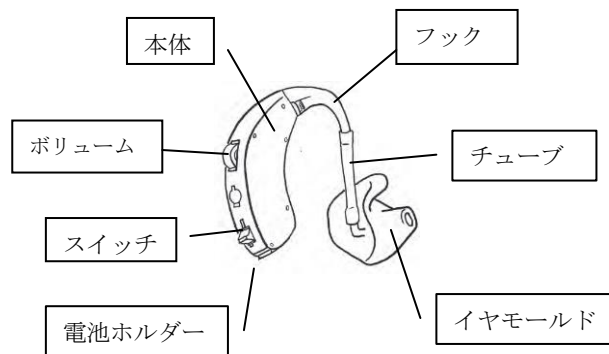
## 補聴器や人工内耳のお手入れ

- ① 補聴器本体から、チューブごとイヤモードを外す。



このときに、チューブが堅くなったり水滴がたまったりしていないか、イヤモードがひび割れていないかも確認してください。

※人工内耳は、機種によって分解の方法が異なるため、注意してください。



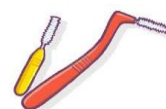
- ② 補聴器本体をティッシュで拭きながら、本体の破損を確認する。電池室も忘れずに掃除をする。



電池ホルダーをいきおいよく掃除すると、壊れる可能性がありますので、ご注意ください。

- ③ チューブやイヤモードは水洗いできる。汚れのひどい時は、ぬるま湯にしばらくつけてから歯間ブラシなどを使って洗う。

※透湿バント付きのイヤモードも水洗いしても、問題ありません。ただ、透湿バント部は、こすらないようにして下さい。



- ④ きれいにすすいでティッシュで水分を拭き取る。チューブ、イヤモードの中はこよりで水分を拭き取る。ドライヤーで乾かす場合は、冷風を当てる。

- ⑤ 分解したまま、乾燥ケースの中にしまう。この時、電池の消耗が早くなるので、**電池は入れない**。

## <汗をかいた時・・・>

- ① 汗をかいた時は、チューブとイヤモールドを外す。
- ② 乾いた柔らかい布やティッシュで、補聴器本体・人工内耳・チューブ・イヤモールドをきれいに拭き取る。  
※電池ホルダー内も忘れずに拭きましょう！
- ③ 補聴器や人工内耳に汗が入らないように、必ず汗カバーをかける。  
※汗カバーが汗で濡れた場合、そのままにせず、替えの汗カバーと交換しましょう！

◎汗カバーは補聴器店で販売しております。また、毎週補聴器店の方が来校されるので、購入を希望する場合は、担任までお知らせください。

汗カバーの一例



## <水泳をする時・・・>

- ① シャワーを浴びる前に補聴器・人工内耳を外し、ケースに入れて保管する。  
※人工内耳で防水カバーを使用する場合、防水カバーに破損がないか事前に確かめてください。また、人工内耳本体に水が入らないよう、カバーのふたをしっかりと閉めてください。
- ② 水泳が終わったら、耳の中の水分を綿棒でしっかりと取る。
- ③ 髪もタオルでしっかりと乾かした後、補聴器・人工内耳をつける。



補聴器や人工内耳を  
正しくケアして、  
水分から守ろう！！

